

# 福島12市町村将来像実現 ロードマップ2020

(案)

福島12市町村将来像提言フォローアップ会議

平成28年〇月〇日

# 福島12市町村将来像実現ロードマップ2020（概要）（案）

福島12市町村の将来像に関する有識者検討会において、福島12市町村における希望の持てる将来像の検討を行い、平成27年7月、**30～40年後の姿を見据えた2020年の課題と解決の方向を提言として取りまとめ**。

提言の主要個別項目の具体化・実現に向けて進捗管理を行うため、復興庁、関係省庁、福島県、12市町村等が参加する「福島12市町村将来像有識者提言フォローアップ会議」（事務局は復興庁及び福島県）を開催し、平成28年5月に**福島12市町村将来像実現ロードマップ2020を策定**。

## 「福島12市町村の将来像に関する有識者検討会提言」における2020年に向けた具体的な課題と取組

<b>(1) 産業・生業(なりわい)の再生・創出</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>新産業の創出と事業・生業の再建</li> <li>基幹産業である農林水産業の再生</li> </ul>	<b>(2) 住民生活に不可欠な健康・医療・介護</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療の充実による安全・安心の確保</li> <li>高齢者の介護の充実等</li> </ul>	<b>(3) 未来を担う、地域を担うひとづくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の復興人材を育む先進的な教育の推進</li> <li>中核的な人材の育成</li> </ul>	<b>(4) 広域インフラ整備・まちづくり・広域連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>広域インフラ整備</li> <li>まちづくり</li> </ul>	<b>(5) 観光振興、風評・風化対策、文化・スポーツ振興</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光振興</li> <li>風評・風化対策</li> <li>文化芸術の振興</li> <li>スポーツ振興</li> </ul>
---	---	--	--	--

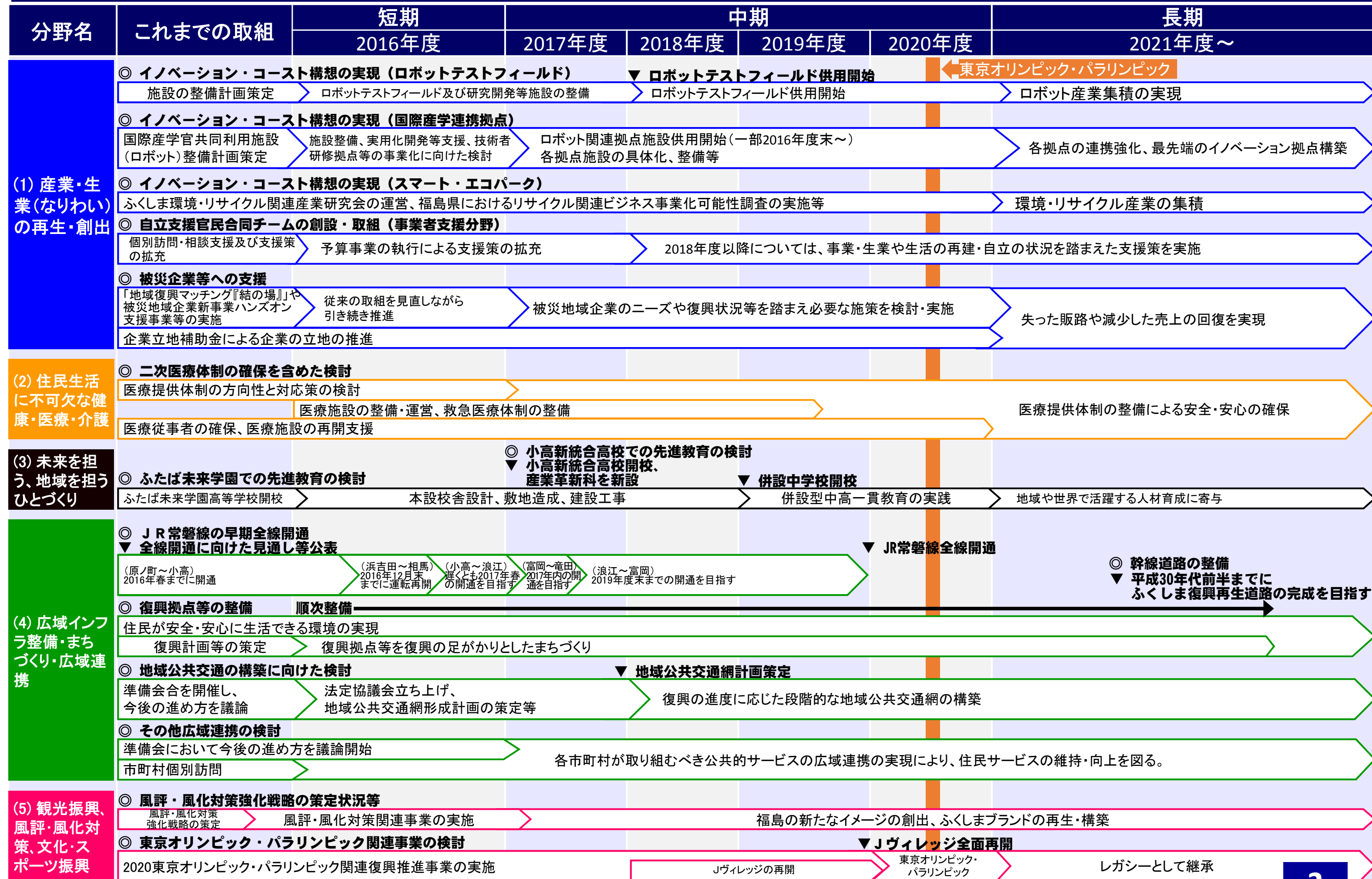
## 主要個別項目への取組（19項目）

<b>1. イノベーション・コースト構想の実現</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>2016年からロボット関連拠点施設を一部供用開始予定</li> <li>2018年度からロボットテストフィールドを供用開始予定</li> </ul> <b>2. 自立支援官民合同チームの創設・取組</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援策の実施主体となる官民の合同チームを創設し、事業・生業の再建や、営農再開を支援</li> </ul> <b>3. 被災企業等への支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>被災地企業の販路開拓等を支援するとともに、企業立地支援により雇用創出及び産業集積等を推進</li> </ul> <b>4. 福島フードファンクラブ（FFF）設立等の検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>福島フードファンクラブの設立等</li> </ul>	<b>5. 二次医療体制の確保を含めた検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>双葉郡等避難地域の医療等提供体制検討会を開催し、医療等提供体制の方向性と対応策を検討</li> </ul> <b>6. ICT活用による地域医療ネットワークの構築</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用した地域医療ネットワークの構築や、ネットワークの拡大を推進</li> </ul> <b>7. 地域包括ケアの実現に向けた検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>被災町村の地域包括ケアシステム構築を支援</li> </ul>	<b>8. ふたば未来学園での先進教育の検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>2019年度から併設型中高一貫教育を実践予定</li> </ul> <b>9. 小高新統合高校での先進教育の検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>2017年に小高新統合高校を開校、産業革新科を新設予定</li> </ul> <b>10. 産業人材育成の検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>テクノアカデミー浜、相双技塾等において産業人材育成を実施</li> </ul>	<b>11. 幹線道路の整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年代前半にふくしま復興再生道路を整備予定</li> </ul> <b>12. JR常磐線の早期の全線開通</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>2019年度末までの全線開通を目指す</li> </ul> <b>13. 復興拠点等の整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>復興拠点等を復興の足がかりとしたまちづくりを推進</li> </ul> <b>14. 地域公共交通の構築に向けた検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>法定協議会を立ち上げ、今後地域公共交通網形成計画の検討、策定予定</li> </ul> <b>15. その他広域連携の検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難12市町村広域連携検討会等を開催</li> </ul>	<b>16. 観光振興（アフターDC等）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>2016年度にアフターDC等を実施</li> </ul> <b>17. 風評・風化対策強化戦略の策定状況等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>風評・風化対策関連事業の実施、ふくしまブランドの再生・構築</li> </ul> <b>18. 文化関係の取組</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域のたから」民俗芸能承継事業や、チャレンジふくしまパフォーミングアーツプロジェクト等を実施</li> </ul> <b>19. 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>2019年度にJヴィレッジを全面再開</li> </ul>
---	---	--	---	--

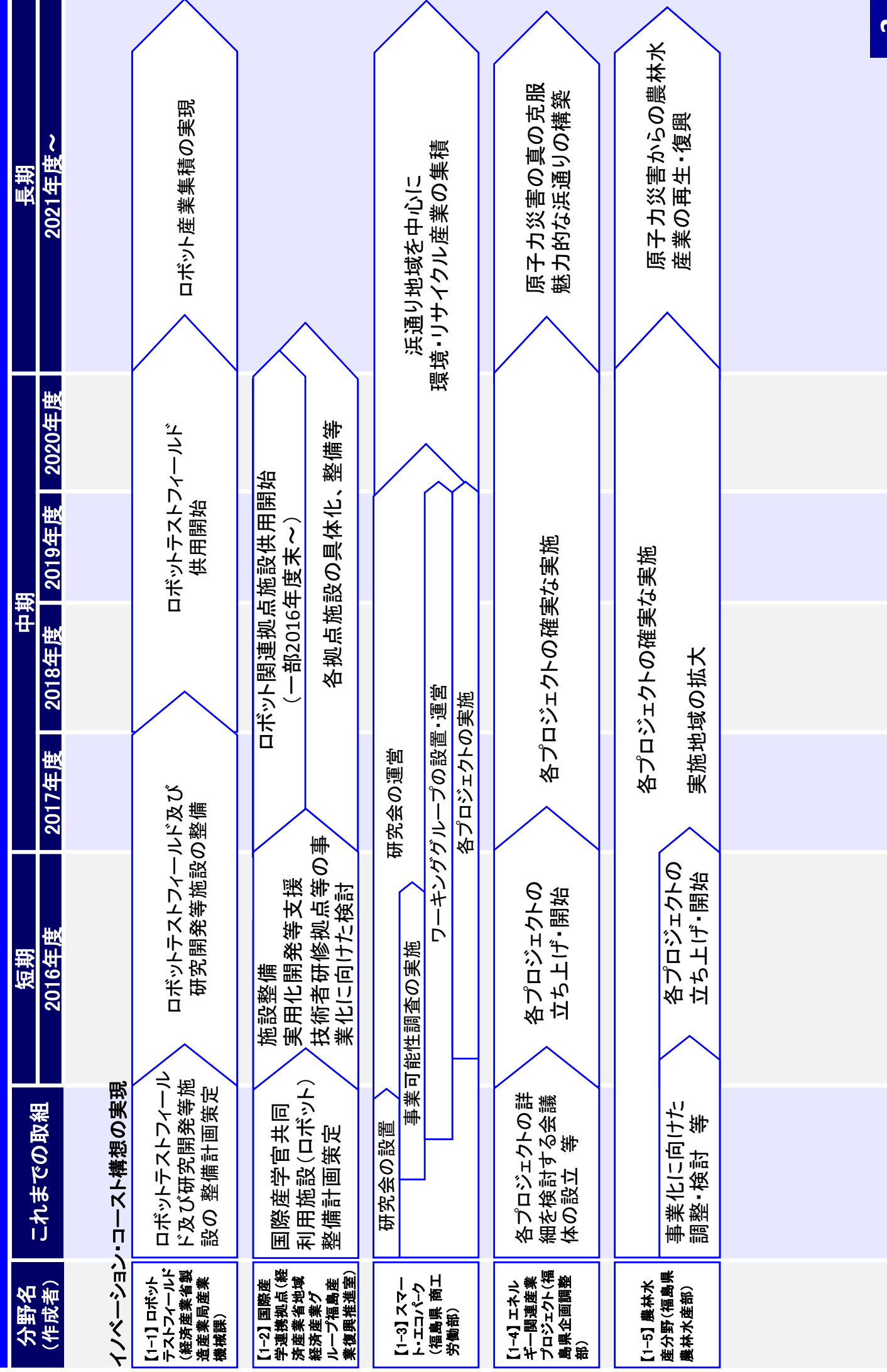
**東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向け、福島復興を世界にアピール**

**福島復興・再生は中長期的対応が必要であり、「復興・創生期間」後も継続して、国が前面に立って取り組む。**

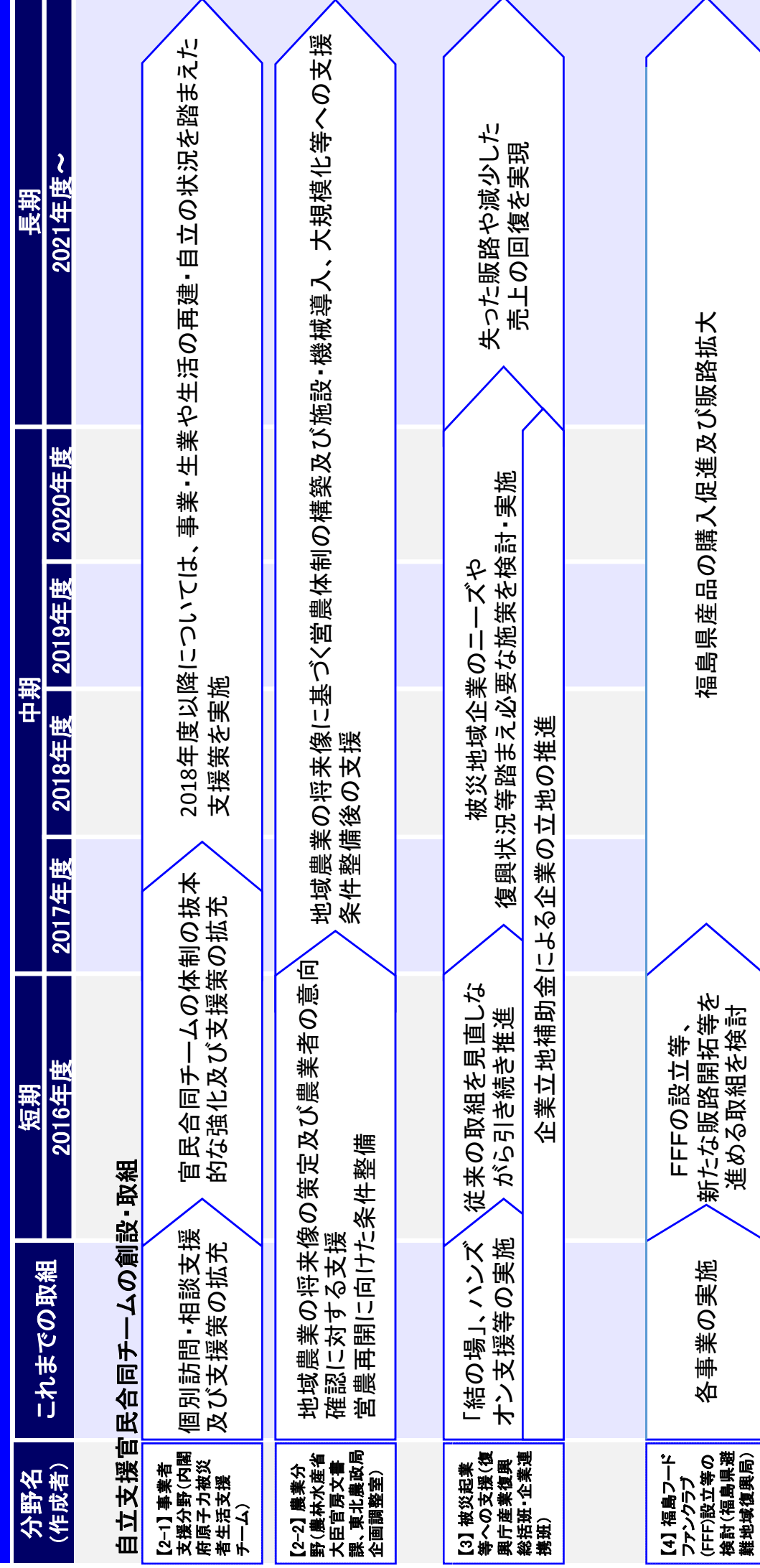
# 福島12市町村将来像実現ロードマップ 2020(主な取組) (案)



(1) 産業・生業の再生・創出



(1) 産業・生業の再生・創出



(2) 住民生活に不可欠な健康・医療介護

分野名 (作成者)	短期			中期			長期		
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度			
【5】二次医療体制の確保を含めた検討(福島県保健福祉部)	医療提供体制の方向性に対応策の検討 医療施設の整備・運営、救急医療体制の整備 医療従事者の確保、医療施設の再開支援						医療提供体制の整備による 安全・安心の確保		
【6】ICT活用による地域医療ネットワークの構築(福島県保健福祉部)	二次医療圏内のネットワーク構築 ネットワークの全県拡大 診療所・介護施設も参加						参加機関の増加・効率的で質の高い医療サービスの提供		
【7】地域包括ケアの実現に向けた検討(福島県保健福祉部)	社会福祉施設の災害復旧、介護施設整備及び介護人材の確保 被災町村の地域包括ケアシステム構築支援						高齢者が安心して生活 できる体制の確保		

(3) 未来を担う、地域を担うひとづくり

分野名 (作成者)	短期			中期			長期		
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度			
【8】ふたば未来学園での先進教育の検討(福島県教育庁)	併設中学校開設準備 本設校舎設計、敷地造成 連携型中高一貫教育	併設中学校開設準備 本設校舎建設工事 連携型中高一貫教育	併設中学校開設準備 併設中学校開設準備 併設型中高一貫教育の実践	イノベーションによる新たな産業の 創造や、新たなまちづくり及び地域再生のモデルを世界に発信する人材の育成に寄与					
【9】小高新統合高校での先進教育の検討(福島県教育庁)	開校準備 本校舎内部改修工事 商業・工業実習棟の新築工事、引越作業	2017年に開校 地域に寄与する人材育成の推進 先端技術教育の実践	イノベーションによる新たな産業の 創造や、新たなまちづくり及び地域再生のモデルを世界に発信する人材の育成に寄与			地域復興及び イノベーション・コースト構想 の実現に寄与			
【10】産業人材育成の検討(福島県商工労働部)	テクノアカデミー浜における人材育成 相双技塾(産学官連携組織)による人材育成 「人材育成道場」の実施の検討								

(4) 広域インフラ整備・まちづくり・広域連携

分野名 (作成者)	短期			中期			長期		
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度			
【11】幹線道路の整備(福島県土木部)	ふくしま復興再生道路 相馬福島道路 調査・設計	8工区完成、7工区工事中、14工区調査・測量・設計・用地交渉 (阿武隈東道路) > (阿武隈東~阿武隈山出道路) > (相馬西道路) > (霊山~福島)	ふくしま復興再生道路 相馬福島道路 調査・設計	ふくしま復興再生道路 相馬福島道路 調査・設計	ふくしま復興再生道路 相馬福島道路 調査・設計	ふくしま復興再生道路 相馬福島道路 調査・設計			
【12】JR常磐線の早期の全線開通(復興庁インフラ構築班)	2015年3月10日 全線開通に向けた見通し等公表 (原ノ町駅~小高駅間)2016年春までに開通 (浜吉田駅~相馬駅間)2016年12月末までに運転再開 (小高駅~浪江駅間)運くとも2017年春の開通を目指す (富岡駅~竜田駅間)2017年内の開通を目指す (浪江駅~富岡駅間)2019年度末までの開通を目指す	ふくしま復興再生道路 相馬福島道路 調査・設計	ふくしま復興再生道路 相馬福島道路 調査・設計	ふくしま復興再生道路 相馬福島道路 調査・設計	ふくしま復興再生道路 相馬福島道路 調査・設計	ふくしま復興再生道路 相馬福島道路 調査・設計			



#### (4) 広域インフラ整備・まちづくり・広域連携

分野名 (作成者)	短期			中期			長期
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度～	
【14】地域公共交通の構築に向けた検討(福島県生活環境部)	法定協議会立ち上げ (平成28年5月予定) 地域公共交通網形成計画 の策定等						
【15】その他広域連携の検討(福島県選抜地域復興局)	準備会において 今後の進め方を議論開始 市町村個別訪問						

復興の進度に応じた段階的な地域公共交通網の構築

各市町村が取り組むべき公共的サービスの広域連携の実現により、住民サービスの維持・向上を図る。

#### (5) 観光振興、風評・風化対策、文化・スポーツ振興

分野名 (作成者)	短期			中期			長期
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度～	
【16】観光振興(アフターDC)(福島県観光交流局)	■観光復興キャンペーン事業 2014.4～6 FJLDC 2015.4～6 本番DC 2016.4～6 アフターDC ■インバウンド関連事業 ■教育旅行関連事業 ■定住・二地域居住関連事業						
【17】風評・風化対策強化戦略の策定(福島県総務部)	風評・風化対策強化戦略の策定	風評・風化対策関連事業の実施					
【18】文化関係の取組(福島県文化スポーツ局)	「地域のたから」民俗芸能継承事業 文化プログラム・文化カプロジェクト	各文化振興事業の実施	東京オリンピック・パラリンピック				レガシーとして継承
【19】東京オリンピック・パラリンピック関連事業の検討(福島県文化スポーツ局)	2020東京オリンピック・パラリンピック関連復興推進事業の実施	東京オリンピック・パラリンピック	東京オリンピック・パラリンピック				レガシーとして継承

ふくしまの新たなイメージの創出、ふくしまブランドの再生・構築

観光復興キャンペーンやインバウンド、復興ツーリズム等に取り組みながら、各種インフラの復旧・整備状況に合わせ、市町村、関係団体と連携し、地域が主体となった継続的な観光振興を図っていく。

#### 参考

### 福島12市町村将来像提言のフォローアップの進め方について



#### 福島12市町村の将来像に関する有識者検討会

- 復興大臣の下、「福島12市町村の将来像に関する有識者検討会提言」を取りまとめ(平成27年7月)
- 提言に記載された**主要個別項目の状況を国、福島県等から報告を受け、実現に向けた助言を行う**

#### 【委員】

- ◎ 大西 隆 豊橋技術科学大学学長・日本学術会議会長
  - 家田 仁 東京大学・政策研究大学院大学 教授
  - 内堀 雅雄 福島県知事
  - 大山 健太郎 アイリスオーヤマ(株)代表取締役社長
  - 高島 宏平 オイシックス(株)代表取締役社長
  - 中村 良平 岡山大学大学院教授・経済学部副学部長
  - 松永 桂子 大阪市立大学大学院創造都市研究科准教授
  - 山名 元 原子力損害賠償・廃炉等支援機構理事長
- (◎:座長、○:座長代理)

#### 福島12市町村の将来像に関する有識者検討会提言(概要)

- 30～40年後の地域の姿
  - 空間線量については、物理減衰のみで相当程度低減
  - 復興の進捗によっては震災前の人口見通しを上回る可能性
  - 世界に発信する福島型の地域再生

#### 2. 2020年に向けた具体的な課題と取組

- 産業・生業(なりわい)の再生・創出
- 住民生活に不可欠な健康・医療・介護
- 未来を担う、地域を担うひとづくり
- 広域インフラ整備・まちづくり・広域連携
- 観光振興、風評・風化対策、文化・スポーツ振興

#### 3. その他

- 福島県の復興・再生は国の責務と明記。
- 発災から10年後の福島への復興に向けた政府の組織のあり方は検討課題と付記
- 「今後、国、県その他関係機関がよく連携し、市町村の意見を踏まえつつ、将来像の個別具体化・実現に向けて速やかに取組み、そのための取組体制の構築を検討すべき」と、フォローアップ体制構築の必要性を提言

#### 助言

#### 福島12市町村将来像提言フォローアップ会議

第1回:平成27年10月、第2回:平成28年2月、第3回:平成28年5月

- 「**福島12市町村**の将来像に関する有識者検討会提言」の**主要個別項目**に関し、**実現に向けた進捗管理(フォローアップ)**を行う
- **工程表等を取りまとめ、有識者検討会に報告する**

#### 報告

#### 【構成】

共同議長  
アドバイザー  
メンバー

復興庁統括官、福島県副知事  
有識者(必要に応じ参加)  
復興庁、関係省庁  
福島県庁

12市町村(田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村)  
個別項目の検討・実施主体(関係省庁、福島県庁関係部局等)  
復興庁、福島県

説明者  
共同事務局